



ふれあいひろば



日本医療機能評価機構

[患者とともにある全人的医療]

「肺がんの種類と治療」

呼吸器内科 伊藤和彦



2012年4月13日に、五大がんに関する市民公開講座を担当し、「肺がんの種類と治療」と題して、当院4階講堂で講演させていただきました。当日は118人もの方にご参加いただき、その後の患者会も含めて、多数の方々からご意見をうかがうことができました。

講演では、肺がんの種類が、大きさやリンパ節転移などで分けられる病期と、細胞の形などから分けられる組織型など、多数あることをお話ししました。その分類に加え、患者さんの全身状態(持病など)、患者さんと家族の希望によって、治療方針が検討されます。

治療方針としては、

- 1.手術
- 2.放射線治療
- 3.抗がん剤
- 4.その他
- 5.積極的な治療は行わない

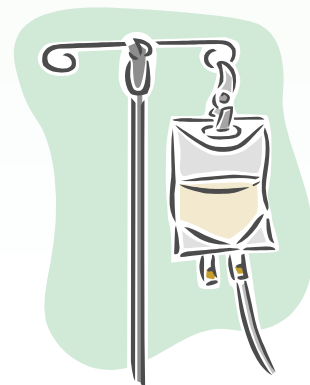
という5つの方針があります。手術と放射線治療は局所治療効果に優れ、抗癌剤は全身への効果を期待して行います。その他としては、粒子線治療や免疫治療などについて紹介しました。積極的な治療を行わないことは、治療のメリットよりリスクが大きいときにおすすです。

治療にあたり、副作用やリスクを説明しないわけにはいかない時代です。効果と副作用が両方あることを理解してもらって治療は成り立ちます。治療してみないと効果・副作用がどれだけあられるかは不明ですが、現在の情報で、効果 \geq 副作用と考えたときに治療をおすすめています。

治療時の心構えとしては、わからないこと・疑問に思うことを担当医に（他院でのセカンドオピニオンも含めて）、よく聞くことがおすすです。すべてを理解することは困難であるとは思いますが。

しかし、治療方針と医師の考え方をある程度まで理解できれば、副作用などのリスクを覚悟できるようになると思います。また、小さい喜びを見つけること、前日より少しよい部分を喜べると、治療の苦痛に耐えやすいこと、100点満点を目指す（悪いところ探しになり）大変であることをお話ししました。

引き続き行われたがん患者会では、肺がんを含めていろいろながんで、患者さん・家族が悩み、疑問をかかえ、意見を言えない状況であることがわかりました。病気への疑問、医師の対応への不満などあり、以前より参加される方が増えてきているようです。がんの完治など、医療に100点満点を期待されると無理なこともあります。その中で、少しでもみなさんの満足度を上げられるような取り組みとして、当院での市民公開講座、がん患者サロン（第一木曜日14:00～15:30：患者図書室で）などを利用していただきたいと思います。



「新病棟の建設に向けて」

事務局 経営企画課

当院では、現在、新しい病棟を建設する計画を進めています。平成25年の晩秋頃には、第1駐車場（入退院口の正面）に鉄筋コンクリート造4階建の新病棟が建つ予定です。今月は、この新病棟の建設計画について、少しお話しさせていただきます。

はじめに、新病棟の施設内容ですが、新病棟には次のようないくつかの機能を持たせます。

（１）精神科病床の新設

新病棟の建設計画は、精神科病床の設置構想から始まりました。

自殺企図や自傷行為により救命救急センターに搬送される患者さんや、精神疾患に加えて身体疾患を発症された患者さんがいます。

このような患者さんへの治療は、精神科治療と身体治療を併せ行う必要がありますが、残念ながらそのような医療機能を担える医療機関は限られているのが現状です。そこで、当院では市の自殺対策施策の一翼を担う意味も含めて、精神科身体合併症治療を担う病床の設置を決定し、国から16床の病床設置の同意を得て、新病棟の4階に精神科病棟を開設します。

（２）外来機能の拡張

当院は、平成19年に当地に移転して以来5年が経過しますが、この間、当院が担う重症、専門、救急の役割が益々大きくなり、当院の医師の人数は30名ほど増えています。また、医師業務の負担軽減を図る医療秘書も新たに配置しており、その結果、外来の診療スペースに不足が生じてきました。更に、がんの化学療法室や光学医療室（内視鏡検査）を拡充して、治療体制の充実も図っていきます。

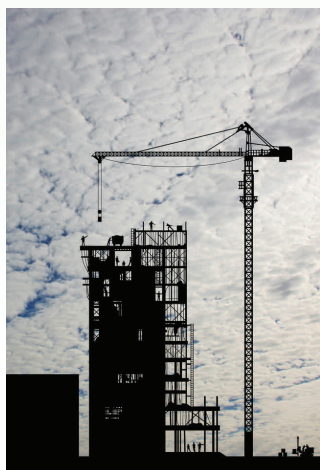
（３）病児保育施設の設置

病児保育は、子育て世代の市民ニーズが大きい反面、市内の実施施設はまだ5か所と限られており、新潟市としても実施か所の拡大を重点施策として位置付けています。小児科を持つ当院としては、力を発揮できる事業です。実施規模は1日10人程度を受け入れる予定で、市内でも規模の大きい施設になりますので、子育て中の方々にご利用いただければと思います。

（４）災害等への対応

3年前の新型インフルエンザの流行の経験を踏まえ、感染症等の流行に対応する緊急時外来診察室を新設します。また、東日本大震災の教訓から食料・医薬品の備蓄倉庫を増設するとともに、DMAT（災害派遣医療チーム）用の資器材倉庫を設置するなど、災害対応の強化を図ります。

次に、建設のスケジュールですが、今年の夏から設計に着手し、年明けには建築工事が始まり、来年中に完成する予定です。工事期間が約1年に及び、期間中、入退院口周辺で皆様にご不便をお掛けすることがあるかと思いますが、安全施工には十分配慮いたしますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



【新病棟の施設配置計画】

現 施 設	4F	精神科病棟（閉鎖病棟）
	3F	会議室、倉庫、当直室等の管理スペース
	渡り廊下	2F 外来拡張スペース （診察室、化学療法室、光学医療室）
	1F	病児保育、緊急時外来診察室、 災害備蓄倉庫、カルテ庫

2011年度 患者満足度調査の結果について

事務局 経営企画課

当院は患者さんに信頼されるぬくもりのある医療の提供を目指しています。この取り組みのひとつとして、当院の医療サービスに対する患者満足度調査を実施しました。

ご協力を頂いた患者さん、ご家族の皆さんにお礼を申し上げますとともに、このたびの調査結果についてご報告します。

【病院満足度ポイント】

「全体としてこの病院に満足している」との設問に対し、肯定的な回答を頂いた患者さんの割合は次のとおりです。

入院調査：94.87%（H22年度比 0.91ポイント増）

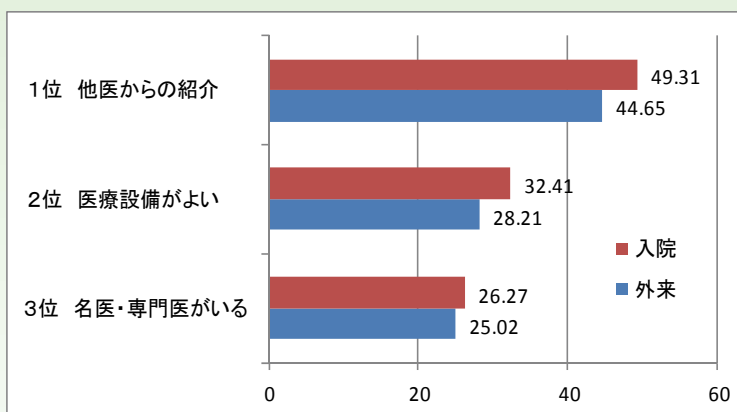
外来調査：90.18%（H22年度比 2.41ポイント増）

入院、外来ともに前回に引き続き90%を超える多くの患者さんから高い評価を頂きました。職員の日頃の取組や努力を評価頂いたことを大変うれしく思います。

【患者さんが当院を選択した理由：上位3位】

入院、外来いずれも同意見となりました。「地域の医療機関から紹介された患者さんを優先的に診療することによってかかりつけ医を支援する」という地域医療支援病院として当院が機能していること、また「重症・専門・救急」を中心とした当院の役割について患者さんにご理解いただいていることの結果と考えております。

【患者さんが当院を選択した理由】



【患者さんの自由記述から】

当院の医療サービスの改善すべき点、良い点などについて具体的なご意見をいただきました。

良い点、特に改善された点では「職員が皆さん明るく、親切に分かりやすく説明してくれた」「病室・廊下が広く、院内全体が明るく清潔感がある」「設備が最新。専門医がいるので信頼している」などの職員の接遇、院内施設や診療体制について評価を頂きました。

改善すべき点では「診療までの待ち時間が長い」「食事に工夫が欲しい」などにご意見を頂きました。

【まとめ】

昨年に引き続き、入院・外来、ともに多くの患者さんから高い評価をいただきました。また同時により良い病院づくりのための貴重なご意見も数多くいただきました。

皆さま方からいただいた評価、お叱り、励ましを全職員で共有し、今後とも当院の目指す「患者さんに信頼されるぬくもりのある医療の提供」に向け、より一層努力を重ねてまいりたいと思います。また日常でもお気づきの点がありましたら、院内に設置しておりますご意見箱までお寄せください。

（調査結果の詳細は当院ホームページ <http://www.hosp.niigata.niigata.jp/> をご覧ください）



診療費の改定のお知らせ

～4月から診療費が変わりました～

医事課

平成24年4月1日から診療報酬が改定されました。患者さんの窓口でのお支払い額が一部変更となる場合がありますのでご了承ください。

今回の診療報酬改定では、急性期医療等を適切に提供し続けるため、病院勤務医等の医療従事者の負担軽減を講じることが大きな方針として掲げられています。

今回はこの項目に関係する新設、改正点の一部についてご紹介します。

これまで、同じ日に複数の診療科を受診しても、再診料700円（※）は1回分しかかかりませんでした。効率的な医療の提供や医師の技術などの診療にかかる経費を踏まえて、4月からは別の疾患で患者さんの意思により複数の診療科を受診した場合、2つ目の再診料として340円（※）がかかります。

救命救急センターへの患者集中を少しでも緩和し、重症者が優先的に受診できるよう夜間、深夜、休日の救急外来受診患者さんに対して、患者さんが来院後、速やかに患者さんの状態を評価し、患者さんの緊急度区分に応じて診療の優先順位を決定（トリアージ）した場合は、院内トリアージ実施料として1,000円（※）がかかります。

※患者さんが窓口で支払う額は、表記の額に保険適用した額（1～3割負担）となります。

多くの方が必要な時に必要な医療が受けられるよう皆様のご理解とご協力をお願いします。

紙面の関係上、すべての診療報酬改定の項目をご紹介することができませんので、ご不明な点がございましたら、お気軽に医事カウンターや外来受付にお問い合わせください。



自動精算機



医事カウンター

市民病院のホームページもご覧ください
<http://www.hosp.niigata.niigata.jp/>

新潟市民病院
広報広聴委員会

新潟市中央区鐘木463-7

電話 025 (281) 5151 (すばやい受診こいこい)

Fax 025 (281) 5187

予約センター 025 (281) 6600 (すばやい予約ろくろくぜろぜろ)

編集後記

新緑の季節になりました。
これから少しずつ汗ばむ陽気になりますが、今年の供給電力は大丈夫でしょうか？
みんなで節電に取り組みましょう。
(N. O.)

